



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 尾 崎 敬 則
幹 事 村 上 泰 啓 会 報 委 員 長 小 原 一 眞



Rotary Serving Humanity
人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2308
2017-1-27

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会 1月27日(第4例会)

● 3分間情報

岡部泰鑑会員

● 卓話 「化学工業について」

現在の化学工業 おかれている状況

井上裕貴会員

次週のお知らせ 2月3日(第1例会)

● 表彰・ホームクラブ連続皆出席

● お祝・誕生日 結婚記念日

● 理事会 11:30 ~ 12:10

シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

● 卓話 「香港の魅力」

香港政府観光局

シニア エグゼクティブ

旅行業界担当 齊藤公保氏

(西谷雅之国際奉仕委員長担当)

● クラブフォーラム (国際奉仕委員会)

例会終了後 ~ 15:00

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

● 食膳 <日本料理 松花堂弁当>

次々週のお知らせ 2月10日(第2例会)

● 卓話 「タクシーサービスのこれから」

富士通テン販売(株) 通信営業部

齋藤克也氏

(岡部倫正会員担当)

先週の記録 1月20日(第3例会)

● 出席報告

出席会員 37名 (内免除会員 10名)

会員総数 50名 (同上 17名)

ゲスト 1名

ビジター 2名

計 40名

ホームクラブ出席率 86.05%

1月6日(第1例会) 補正出席率 97.78% (MU 5名)

● ゲスト&ビジター (敬称略)

末吉 勘四郎重久 (大阪イブニングRC)

下岡 陽一郎 (大阪中之島RC)

張 淵 (米山奨学生)

チョウ エン

◆ 会長の時間 ◆

今日は、大寒。今夜は雪とか。どうぞ、暖かくしてお過ごしください。今日は、10周年記念誌の座談会の中からお話をします。当クラブ発足の頃の話です。当時、大阪東RCのテリトリーから東成、生野区の地域を分割して新しいRCを作ろうという話があり、初代会長には、東大阪RCのチャーターメンバーで第10代会長も務められたロート製薬専務の金子様に白羽の矢が立ち、金子様が初代会長になられたそうです。また、有光初代幹事は、当クラブ発足までの半年間、お父様がメンバーであった大阪東RCに修行に行かれ、経験を積み、幹事に就任されたとのこと。発足当時の熱い思いが伝わってきます。また、私たちのクラブのバナーですが、これはロート製薬の図案家の小山様にお願いし、お作りいただいた中から決められたものだ

1月は職業奉仕月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

そうです。ただ、バナーに千成びょうたんがあることについて、韓国との関係で、少し具合が悪いのではないかと、というご意見もでたそうですが、結果、今のバナーに決まったそうです。このほか、この座談会では当時のご苦労などが語られています。現在の大阪城南RCはこれらの先人のご苦労などの上に成り立っていることを理解し、深く感謝しなければと思います。

◆ 委員会報告 ◆

ゴルフ同好会マネージャー 山本智重

平成29年3月18日(土)に大阪城南ロータリー第2回ゴルフコンペを開催いたします。

場所は西宮カントリー倶楽部です。

恐れ入りますが、出欠のお返事を2月24日(金)までをお願い致します。

卓話

1月20日 <第3例会>

「お茶について(趣味の会)」



村上武史会員

今迄の卓話は職業奉仕ということもあって自分の従事している仕事の砂糖という商品について、案外世間の皆様方は間違った知識によって悪いイメージを持たれているのでお砂糖の正しい知識を啓蒙する為、過去3回卓話をさせて頂きました。今回は現在2月18日(土)に開催予定のお茶会(趣味の会)の宣伝の為、お茶についての色々な話を私なりの分析も含めて、少し飛躍した解説になるかも知れませんがお話しさせて頂きたいと思います。

まずはお茶のイメージはどの様であるのか、美点と欠点に分けますと、美点としては日本文化を代表する教養の一つであって、「わび」「さび」の良さを完成させたのは利休さんがお茶を通してであると言っても過言では無いでしょう。又、欠点と言えども権威主義的

で敷居が高く、正座をしなければならないといったイメージを持たれ、少しお茶に興味を持たれている方でも何となく茶会に出席出来るチャンスが有っても、何等かの理由を付けてパスされているのではないのでしょうか。でもお茶の色々な話を知って頂くと決して敷居は高く無く、むしろ気軽に出来るモノで有ることが分かって頂けることでしょう。ちゃんと正座して御点前を頂くことを否定しているのでは無いのですが、利休さんの時代はおそらく正座なるものをキチットしていた訳では無く、かなり自由だったのではないのでしょうか。戦国武将が全員ちゃんと正座をしても思われませんし、利休さん自身、朝鮮の正座である片ヒザを付いた肖像画がちゃんと残っており、御点前する時はさすがに正座をしますがその他は余りしていなかった様です。しかし江戸時代後期、文化・文政時代以降、特に明治時代からは御点前等の作法は厳しくなり、お茶を楽しむと言うよりはお茶＝作法の側面が重視され、お茶は正座しないとイケない、お茶は堅苦しく難しいモノになったのではないのでしょうか。

にこにこ箱

1月20日(第3例会)

- 今日は大寒、皆さん暖かくしてお過ごしください。

張さん、お世話になりました。

尾崎会員

- 近く封切される洋画・沈黙(ちんもく)は遠藤周作の原作ですが、私は舞台となる長崎県の出津と深いかわりがあります。よろしく。

岡本会員

- 本日の卓話よろしくお祈りします。

村上(武)会員

(編集担当 山本(智)・岡部(倫))

会員増強にご協力を!!